



# 園長便りひがし

令和8年1月7日  
宮崎ひがし幼稚園  
文責園長 花宮 伸利

## あけましておめでとうございます

午（うま）は十二支の7番目に位置し、古来から「俊敏さ・勢い・成長・活発」を象徴する存在とされてきました。動物に例えられる「馬」は、昔から移動手段や戦の要として重要な役割を担ってきた動物です。そのため干支における午は、以下のような意味を持つといわれます。「勢いが強くスピード感がある」「行動力・決断力が高まる」「変化が加速する」「成長を後押しする」「社会が活気づきやすい」午の文字は太陽が真上に昇った「正午」にも由来しており、陽気（＝エネルギー）が最大限に高まる象徴です。物事がピークに達しやすい年ともいわれ、良くも悪くも「動きが激しい」のが午年の特徴といえます。職員一同、午年にあやかり、スピード感をもって子ども達のために頑張りますので、今年もどうぞよろしくをお願いします。

## 「スーパーCA（キャビンアテンダント）の仕事術」（著者の里岡美津奈）

あるフライトのこと。ひとりのCAから、なかなか担当エリアの離陸準備OKのサインが出ません。「何かあったのかしら」と心配で様子を見にいこうとすると、そのCAが困った顔でそばにやってきました。「ご夫婦のお客様で、奥様のほうが大きな人形をお持ちなのですが、どうしても手から離してくださらず、ベルトが着用できないのです。ご主人と一緒になんどもお願いしているのですが・・・」お客様の席に近づいてみますと、たしかに可愛らしい人形をしっかりと胸に抱いていらっしゃいます。

私はお客様と目線を合わせてこう言いました。「お客様の“お子様”ですが、お隣の席に移動していただいてもよろしいでしょうか？」「ええ、分かりました」その瞬間、思い詰めたようなお客様の表情がやわらかくなり、素直に人形を隣の席に置いてくださいました。ご主人も、そのお客様を実際に担当していたCAも驚いていましたが、お客様も人形にシートベルトをし、無事飛行機は離陸することができました。

後日、ご主人からていねいなお礼のお手紙をいただきました。「実は半年ほど前に、私たちは子どもをなくしております。それ以来、妻は人形をかたときも離さなくなっていました。私も気持ちが分かるものですから、ほかのお客様に迷惑をかけていると思いながら、飛行機の中で妻を強く注意できませんでした。でも、里岡さんのあのひと言があってから、妻の気持ちがずいぶん落ち着いたようです。本当にありがとうございました」と。とっさに出た言葉でしたが、その人形は私が見ても「お荷物のひとつ」という気がしませんでした。お客様の様子を見た瞬間、事情は知らなくても何か感じるものがありました。そして偶然にせよ、そのときにかけたひとことがお客様の何かのお力になれた。それはとてもうれしいことでした。里岡さんは、ANAのピカイチのCAだそうです。これを感性というのでしょうか。感性は、一朝一夕に得ることはできません。常に相手を思いやる心を育むことから生まれます。

宮崎ひがし幼稚園でも3学期に向けて研修会をもち、年長さんは小学校に向けての準備をしていくこと、他の学年は進級に向けて1年間のまとめをしていくことを確認しました。また、今月から新しいお友達も6名増えてにぎやかなスタートになります。常に子ども達に寄り添いながら感性を磨いていきたいと思います。

